

うけつがれる記憶の数々・狩野川台風資料館（伊豆市立熊坂小学校）

今年は狩野川台風から60年。被災した市町では台風上陸の9月26日を中心に、映画や演劇上演、写真展などさまざまな行事が計画されています。当時は修善寺町であった熊坂小学校は校舎ごと濁流にのまれ、78名の児童と2名の教員が亡くなりました。これは被災市町の学校中で最大の犠牲者数であり、現在でも台風被災した9月26日には、全校で防災学習を行っています。

熊坂小学校の校舎内には、平成2年に修善寺町・区民をはじめたくさんの皆様の協力を経て開設された「狩野川台風資料館」があります。現在も校長先生はじめ教員の手により管理が行われ、国交省から寄贈を受けた資料などもあります。防災学習にも役立てられるように、とのことから、阪神大震災の当時の新聞なども閲覧できるようになっています。

今年度は狩野川を挟んで向かい側の伊豆の国市立大仁小学校の児童が、この資料室を使って授業をおこなったそうです。所用で熊坂小を訪問した際、校長先生より学校関係者だけでなく、広く一般の方にも利用していただきたいとお話を伺いました。開館から長い時間をかけて学校、児童、そして狩野川流域の地域の方々が手をかけて作り上げてきた資料館です。一度、足を運んでみてはいかがでしょうか。



学校日誌抜粋年表と資料

●狩野川台風資料館●

【住所】

〒410-2411
静岡県伊豆市熊坂708-3
熊坂小学校内

【開館時間】

学校の授業予定に準ずる
(土日祝は閉館)

【入館料】 無料

【問い合わせ先】

熊坂小学校
0558-72-1116



当時の被災状況を再現した地形図



4年生の調べ学習と当時の新聞

ジオ小話いり丹那牛乳、誕生！

伊豆半島の学校給食ではおなじみの丹那牛乳。この牛乳パッケージに、伊豆半島ジオパークの「小話」が入りました。内容はジオパーク全体に関するものから、各地域の話題までさまざま。牛乳を飲みながら楽しく学ぶことができます。

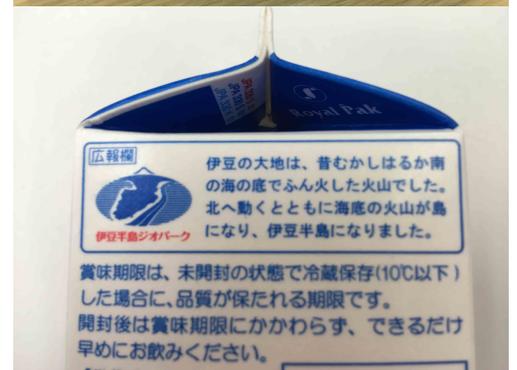
小話いり牛乳は、主に学校給食用に提供されている200mlパック。推進協研究員が文案を作成し、函南東部農協の協力で実現しました。小話は全部で16種類。伊豆半島の成り立ちといった伊豆全域の内容から、大室山、丹那断層、下田、堂ヶ島、駿河湾といった地域のジオにも触れています。

丹那小学校で行われたお披露目では、「そっちの牛乳には何と書いてあるの？」と目を輝かせていました。

小話いり牛乳はスーパーや小売店でも一般販売されています。ご家庭で購入した牛乳の小話を前に読み比べてみるのも楽しいですし、ちょっぴり賢くなったような気分にもなれます。



丹那小学校でのセレモニー



ジオ小話いりパッケージ

課題研究「地域研究」の取組 ～伊豆半島ジオパークから創造する地域の未来～ (静岡県立沼津商業高等学校)

本校県立沼津商業高等学校は、明治32年に駿東郡沼津町立沼津商業学校として開校、今年度で120年目を迎える静岡県の商業高校の中で最も歴史のある伝統校である。商業高校の学びは時代の変遷によって変化する内容があり、最近では自ら社会の諸問題を解決する力の育成が各科目で求められている。

3年生(情報ビジネス科)課題研究の授業、テーマ「地域研究」(週3時間)では「地域活性化プランを考え実行すること」とし、「地域を知る」「地域を認める」「地域を創る」の3つの柱とし活動している。(今年度の受講生は8人)

知る × 認める = 創る

生徒たちは4月、ユネスコ世界ジオパークとして認定された「伊豆半島ジオパーク」が、地元に住むに私たちにあまり馴染みがないことに着目した。そこで、実際にジオサイトを巡り「こんなに美しい場所がある」と、地元の人に自慢して欲しいと感じた。また、

自然の成り立ちを知ると今まで感じなかった普段の景色が変わって見えた。人間の暮らしは地球活動の存在なくして存在しない、自然の脅威も感じる事ができた。

生徒たちは活動の目標を、(1)伊豆半島ジオパーク関連商品を地元の人に向けて地元企業と協働販売することで伊豆半島ジオパークの認識を高める。(2)その売上の一部を被災地支援に寄付することで防災意識を高める、とした。

現在、静岡県東部で40年売れ続ける有名なパン「のっぽ」を手がける地元企業、株式会社バンデロール様の協力を得て11月の開発販売を目指している。

受講生8人は、課題解決のために自分たちで考えを出し合い、疑問点や未知な事を調べ、実際に現地へ行くことで考えを深めている。また次々と出逢う新たな人たちとの繋がりは自分たちの活動を発展後押ししてくれた。特に宮城県石巻市への訪問では、「石巻日日子ども新聞」を発行している高校生と話をすることができた。自分たちの活動が後輩へ繋がるよう活動していること、地域を創るには地域を知らなくてはいけないとの言葉を聞き、生徒たちは自分たちのやるべきことの重要性を感じた。今後も生徒たちが商業高校で得た知識・技術を結集させ、将来地域貢献できる人材育成に努めたい。(文：静岡県立沼津商業高等学校 香月)



伊東市大室山にて



試作品完成



「石巻日日子ども新聞」
高校生記者と本校生徒

★お知らせ★

石巻日日子ども新聞様のご厚意で、教育通信を配布している域内小中学校・教育委員会宛てに掲載号をご寄贈いただきました。ありがとうございました。

打ち合わせ(試食会)におじゃましました!

9月14日、沼津商業高校にて試食会が行われました。バンデロール社の皆様、静岡大学地域創造学環の教育班、伊豆半島ジオパーク推進協議会と机を並べる美しい伊豆創造センター・アンテナショップ担当など、多岐にわたるメンバーがそろい、生徒さん全員によるプレゼンテーションを拝見した後に試食。

修善寺の黒米と戸田の塩を使ったパン、岩をモチーフにした黒いメロンパン、ちぎりパンをもじったジオリパンの三種類。ターゲットはSNSを使う20～40代女性であるため、実際に切り口やアングルなどを工夫しながらスマホで撮影したり、バンデロール社からはパンのアレンジ例なども提示。熱気のある試食会となりました。

- 今後の販売スケジュール●(全日程生徒が販売・プロモーション予定)
- 10月27日(土) 美・伊豆 伊豆半島アンテナショップ(横浜中華街)
- 11月10日(土) ふじのくに実学チャレンジフェスタ
- 11月18日(日) ぬまづパンマルシェ

編集後記

伊豆半島ジオパーク教育通信は今まで小中学校・市町や関係省庁などの記事を掲載してきましたが、今号は初めて高等学校の先生からの寄稿をいただきました。高校は専門科や課題研究など分野が多岐にわたるため、事務局側からのアプローチが難しい部分がありました。そんな中、沼津商業高校の生徒さんの取り組み、第12回東海地区高等学校生徒商業研究発表大会で優良賞を受賞した「伊豆半島ジオパークの贈り物」すばらしいプレゼンテーションを拝見しました。今後も学校という枠の中の色々な取り組みをご紹介していきたいと思います。(事務局 内藤)